

令和6年度第3回名取市協働事業審査会会議録

- 1 日 時 令和7年2月13日(木)13時30分～15時00分
2 場 所 議会棟3階 第3・4委員会室
3 出席者 秋月委員長、中島委員、小畑委員、齋藤委員、桜井委員
事務局:浅野課長、佐藤補佐兼係長、岩間主幹兼係長、
八巻主査、森主事、岩渕事務補助員
欠席者 林委員、太田委員
4 会議概要 下記のとおり
-

- 1 開 会 進行:佐藤補佐
2 あいさつ 秋月委員長
3 審査説明
4 議 題
(1) 令和5年度採択(令和6年度実施)名取市協働提案事業実施報告プレゼンテーションについて
(2) 令和5年度採択(令和6年度実施)名取市協働提案事業評価審査
5 その他
(1) 令和6年度実施名取市協働提案事業担い手育成型(入門コース)の報告について
(2) 令和7年度募集(令和8年度実施)名取市協働提案事業について
6 閉 会
-

3 審査説明

事務局:

はじめに、(1)令和5年度採択、令和6年度実施の協働提案事業2団体による実施報告プレゼンテーションを行います。各団体入れ替え制により行い、1団体15分程度で報告・質疑応答・準備移動する予定で進めてまいります。報告には、協働した課も同席いたします。

報告プレゼンテーションの後、休憩をはさみ、次第(2)の協働提案事業評価審査に進みます。

次に、報告プレゼンテーションの審査方法について説明いたします。お手元にお配りした資料の令和6年度第3回名取市協働提案事業審査会実施要項をお開き願います。中段に記載しております、5審査方法をご覧ください。(2)の審査項目①から⑥までの6項目を評価の視点として審査をお願いいたします。採点については、(3)採点方法をご覧ください。各項目5点満点として評価をお願いいたします。

次に、お手元に配布してあります、ピンクの付箋が貼ってあるファイルをご覧ください。本日、報告プレゼンテーションを行う2団体分の評価票が入っております。

その評価票に団体ごとに評価の視点①から⑥までの6項目について5段階評価していただくとともに、下にあります「評価コメント」の欄にコメントやアドバイス等のご記入をお願いいたします。

質疑応答の時間や団体入れ替えの時間などに評価票へご記入いただき、全てのプレゼンテーションが終わった時点で、評価票を回収させていただきます。なお、報告プレゼンテーションが終わりましたら、休憩時間を設け、その間に事務局で全体集計を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4 議 題

- (1) 令和5年度採択(令和6年度実施)名取市協働提案事業実施報告プレゼンテーションについて

<プレゼンテーション>

I 特定非営利活動法人 地星社（協働する課:市民協働課）

本事業は、市民目線で地域の課題を考え、課題に対して情報収集や分析を行い、対話や協働しながら探究活動を行うものです。活動の中で、地域課題の解決に効果的な取り組みや課題解決のための提案につなげることを目指して実施しました。

1回目は、課題を見つけるきっかけづくりとして、市の長期総合計画のテーマを基に、自分がどのようなことに関心があるか探りました。2回目は、見つけた地域課題のグループ分けを行い、グループで課題に対する問いを考えました。3回目は、フィールドワーク前の情報収集を行いました。4回目は、フィールドワークで集めた情報を整理し、5回目で情報をまとめ、プレゼン準備をしました。6回目は、発表会を行い、医療的ケア児の問題や産後ケア、若年者の妊娠と性教育、中高生の社会参加、増田商店街の空き店舗の問題、名取の歴史的な魅力の発信という、6つの課題の探究した成果を発表しました。

この事業は、20代から60代までの様々な方が参加され、テーブルファシリテーターとして運営に協力してくださる方もいました。現役世代の方の参加が多かったかという印象です。

事業の成果は、参加者がこれまで気づかずにいた地域課題について、知る機会となり、探究活動を通して、参加者同士が話し合うことで、仲間づくりにも繋がったことです。また、今回探求したテーマについては、これからアクションに移していきたいというグループもあり、協働のまちづくりが推進に繋がった成果になったと考えています。

また、今回のグループの中で、2つのグループがアクションに移そうとしております。一つは、増田商店街の空き店舗の問題を課題としたグループ、もう一つは名取の歴史的な魅力の発信を課題としたグループです。名取の歴史的な魅力の発信を課題としたグループについては、探究活動の中で愛島に滝があることを知り、滝の魅力を発信したいと考えています。しかし、滝の付近はゴミが多いため、3月に地域や公民館の人たちと協力してゴミ拾いをする予定で、当団体もサポートしようと考えております。

今後は、このように課題解決のアクションに移すためのサポートを行うとともに、引き続き地域づくりに関する活動や交流する場づくりをしていきたいと考えております。

<質疑応答>

委員：今回の活動を通しての課題はありますか。

団体：今回のワークショップが、探究発表までとなり、アクションに移すまではできなかったが、2つのグループがアクションに繋げて活動する方向なので、引き続きサポートをしていこうと考えています。また、今後活動が大きくなった場合に、活動資金について検討が必要になると思うので、活動について一緒に考えていきたいと思っています。

委員：参加者人数は想定通りでしたか。また、参加者の関心はどうでしたか。

団体：20名募集したが、19名の応募がありました。しかし、活動の中で、2名の方が参加できなくなり、結果17名となりましたが、参加者が20名弱でしたので、想定範囲で事業ができたと思います。また、参加者とは別に、テーブルファシリテーターとして関わった方が7名おり、運営に協力して関わっていただきました。中には、今後のアクションにも関わっていききたいという方もおり、関心は高かったと思います。

委員：発表したことで終わりとなっているが、その後の協力者や仲間を増やすことについて教えてください。

団体：増田商店街の空き店舗の問題を課題としたグループの中に、増田地区にお住まいの方がいて、元々の繋がりがあるので、今後はそれを活かして、商店街の方たちと一緒に取り組むことを考えております。また、名取の歴史的な魅力の発信を課題としたグループは、公民館と繋がっているようです。今後は、他のグループなどについても、アクションを通して、協力・連携を得られるよう、当団体でもサポートしていきたいと考えています。

Ⅱキラキラパーク増田西（協働する課：クリーン対策課）

本事業は、増田川の河口から水源までの全体図を把握するという点と、増田川の自然環境を守る意識の醸成をするという点から事業を実施しました。

実施内容としては、市民を募集して、増田川の川歩き、川の周辺を観察するというもの、また、その結果を踏まえて増田川の実態を知る紙芝居を作るということの2点です。

具体的な活動としては、1回目6月16日に、増田小学校の教頭先生を講師に、増田川の下流域を歩きました。柚の木橋から下流に向かい、堰、魚道の観察をしました。さらに下流に向かい、毘沙門橋の所で釣れる魚や魚の種類等を学びました。さらに下流に向かい、寺野大橋の所から引き返して柚の木橋まで戻りました。2回目は、9月29日に魚の専門家を講師に迎えて、中流域を歩きました。市民活動支援センターから飯野坂橋まで歩きました。また、川の様子や生き物について学び、捕らえた魚を観察しました。3回目は、11月3日に当団体代表が講師となり、上流に向かい、鮭の遡上と生態について学びました。吉合橋の下で、前年度は見ることができなかった鮭を2〜3匹見ることができ、遡上を確認できました。4回目は、12月8日に川上連合契約会の方の案内のもと、水源に向かいました。距離が遠いので、水源の入口までマイクロバスで送迎しました。上流に沿って歩き、上流端の碑を見ました。また、帰りは、山賊が潜んでいたといわれる洞窟の探検や写真で上流域の植物について学びました。5回目は、4回の観察を踏まえて、作成した紙芝居の発表会があり、『あら!まあ!ますます増田川』というタイト

ルの紙芝居を披露しました。紙芝居は、絵本作家の阿部弘子さんに作画を依頼し、作りました。不法投棄された物や観察で見られた生き物、魚や鳥や花を素材にしました。

事業の成果は、河口から上流端まで歩いて観察し、各回講師の話を聞き、質疑応答をして理解を深めることができたことです。参加者は、川の様子の違い、魚の種類の多さ、鮭の遡上などに感動していました。この事業を通して、増田川の実態把握ができたと考えています。それと同時に、ゴミの不法投棄などの問題について、考えるきっかけに繋がりました。また、川歩きで得た気づきを紙芝居にしたことで、参加者の認識も深まったと考えています。今後は、今後自然環境保全や生物多様性を守る意識を醸成するために、紙芝居を活用して、活動していきたいと考えています。

<質疑応答>

委員：今回参加されたお子さんは、何年生から何年生くらいの、何人くらいでしたか。

団体：参加者 18 名のうち、小学生が 7 名です。学年は、1 年生から 5 年生くらいだと思います。

委員：その他は、大人の方ですか。

団体：はい。大人だけの参加もありました。

委員：募集したときは、どのくらいお子さん参加があると考えていましたか。

団体：もう少し多い人数を考えていましたが、実際は、この人数でした。

委員：とても大事な活動だと思います。子どもたちにもっと大事さを知ってもらうために、今後取り組もうと考えていることはありますか。

団体：子どもたちが大事だと“知る”きっかけになるよう取り組もうと思います。

委員：紙芝居を作って披露した際、どのような感想がありましたか。

団体：ゴミの不法投棄などの問題にも対処しないといけない、将来的に川を守っていかなければいけない、魚などが生きていける川にしないといけない、といったような感想をいただきました。

以下、非公開

4 議 題

(2) 令和 5 年度採択(令和 6 年度実施)名取市協働提案事業評価審査

5 その他

(1) 令和 6 年度実施名取市協働提案事業担い手育成型(入門コース)の報告について

(2) 令和 7 年度募集(令和 8 年度実施)名取市協働提案事業について

6 閉 会

令和 7 年 3 月 10 日

委員長

秋月 高太郎

